

カリキュラムマップとは、授業科目と教育目標の関係を示した表のことで、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するかを示しています。

このカリキュラムマップにより、学修内容の順次性や科目間の関連性が一目でわかり、自らの学修内容を容易に把握することができます。

経済学部 カリキュラムマップ

経済学部における「人材の養成・教育研究上の目的」（P. 2参照）に則り、専門教育のカリキュラムは、本学の建学の精神である「行学一体・報恩感謝」に基づいて、経済学の基礎的および専門的な知識を幅広く学び、その実践的応用によって現代経済の構造変容の実態と新しい課題を自ら分析する力を身に付けることです。そして、それらを基礎として問題の本質を適確に把握し、課題解決のための適切な方法を構想しうる学問的基礎を備えた社会人を養成するとともに、それを通じて人間的共感と社会的公正を基礎とする、真に豊かで持続可能な経済社会の実現に寄与しうる社会人を育成することにあります。

経済学部 カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー（DP）																
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP2		E-DP3			E-DP4				E-DP5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働の実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会人基礎力	応用的キャリア形成力
宗教学Ⅰ B111-113-01	「建学の精神」を学び、また、多様な宗教の見方・捉え方(分類法など)や、世界各地の宗教の概要・歴史を学習する。	宗教を客観的に学ぶことで高い倫理性を持った人間性を獲得し、また、世界各地の宗教を学ぶことで多様な文化・価値観を理解する。					◎							◎		◎			
宗教学Ⅱ B111-113-02	インドで生まれた仏教・禅の教え(世界観・価値観)の基本を学び、世界各地へ伝わった歴史を学ぶ。	仏教の智慧を学ぶことで、課題発見力や問題解決力を養い、また、慈悲を学ぶことで、他者との協調性を養い、価値観の多様化した現代においても力強く生きられる柔軟性を得る。					◎							◎		◎			
教養セミナー 「学問の発見」Ⅰ B132-841-01	教員の専門性を生かしながら、学生の学びへの姿勢を喚起させる。そのため、愛知学院大学教養部が編纂した教養セミナーハンドブック第Ⅰ部「大学で学ぶために」を共通テキストとして使用する。	リベラル・アーツへの目覚めを喚起し、高校までの受動的な学習形態から、大学での能動的な学習形態へ働き、大学で学ぶための心構えを意識させることを目標とする。			◎		◎									◎			
教養セミナー 「学問の発見」Ⅱ B132-841-02	教員の専門性を生かしながら、学生の学びへの姿勢を喚起させる。そのため、愛知学院大学教養部が編纂した教養セミナーハンドブック第Ⅰ部「大学で学ぶために」を共通テキストとして使用する。	リベラル・アーツへの目覚めを喚起し、高校までの受動的な学習形態から、大学での能動的な学習形態へ働き、大学で学ぶための心構えを意識させることを目標とする。			◎		◎									◎			
教養セミナー 「学問の発見」Ⅲ B232-841-03	「教養セミナーⅠ・Ⅱ」の発展系の授業として「学問の発見」をより深く考える科目であり、各担当教員の専門性を活かした形での授業として少人数のセミナー形式で授業が行われる。	各担当教員による幅広い分野の専門性を活かした科目として、学問に対する好奇心や探究心などをより一層高めることを目標とする。			◎		◎									◎			

経済学部　カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー（DP）																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP-2		E-DP-3			E-DP-4				E-DP-5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
教養セミナー 「学問の発見」Ⅳ B232-841-04	「教養セミナーⅠ・Ⅱ」の発展系の授業として「学問の発見」をより深く考える科目であり、各担当教員の専門性を活かした形の授業として少人数のセミナー形式で授業が行われる。	各担当教員による幅広い分野の専門性を活かした科目として、学問に対する好奇心や探究心などをより一層高めることを目標とする。			◎		◎								◎				
心理学Ⅰ B131-285-01	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心を向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。	◎		◎														
心理学Ⅱ B131-285-02	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心を向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。	◎		◎														
哲学Ⅰ B131-111-01	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。	◎				◎							◎		◎			
哲学Ⅱ B131-111-02	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。	◎				◎							◎		◎			

経済学部 カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー (DP)																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP2		E-DP3			E-DP4				E-DP5		
			基礎的学士力					基礎的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
論理学Ⅰ B131-111-11	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。	◎																
論理学Ⅱ B131-111-12	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。	◎																
文学Ⅰ B131-135-01	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。					◎												
文学Ⅱ B131-135-02	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。					◎												
美術Ⅰ B131-116-01	美術の歴史、人物、環境等を通して現代社会の美術の見方、考え方を学び美術の基本姿勢を修得させていく。	美術の基本的な姿勢や見方を修得する。個々の美術観を築き表現法を見出ししていく。					◎												
美術Ⅱ B131-116-02	美術の基本理念に基づき多様に広がる美術事情を探り自己の美意識を広げ表現力を高めていく。	美術の理念を深め自己の造形に表現力を加え、美術の基礎の確立を計る。					◎												
法学Ⅰ B131-211-01	法学全般の基礎、及び憲法の基礎について講義する。	法学全般に通じる基本原理、及び憲法的基本原理を理解する。	◎											◎					
法学Ⅱ B131-211-02	民法の基礎について講義する。	民法的基本原理を理解する。	◎											◎					

経済学部　カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー（DP）																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP-2		E-DP-3			E-DP-4				E-DP-5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
政治学Ⅰ B131-222-01	民主主義・自由主義などの原理、 執政制度・選挙制度などの政治制 度を学ぶ。	政治の基本的原理や制度を理解す る。	◎										◎						
政治学Ⅱ B131-222-02	日米英独仏など各国の政治を比較 して学ぶ。国際政治の仕組みにつ いて学ぶ。	各国政治および国際政治の基本を 理解する。	◎										◎						
社会学Ⅰ B131-261-01	本講義は、具体例を挙げながら、 社会学が考えてきたこと、明らか にしてきたことを確認し、社会学 の概念や方法を理解していきま す。また、それらの知識を用いて、 現代社会の諸課題についても考え ます。	社会学の「問い」、「概念」、「方法」 を理解すること。そして、社会学 的思考を用いて、自ら現代社会の 諸課題の様相について説明できる ようになること。	◎										◎						
社会学Ⅱ B131-261-02	本講義は、社会階層、文化集団、 コミュニティ等を取り上げ、社会 学的な視点からそれらの集団の特 徴を理解していきます。そして各 集団と現代社会の諸課題の関連に ついて考えていきます。	各集団の特徴を理解すること。そ して、現代社会の諸課題が各集団 のなかでなぜ発生し、どのように 顕在化していくのかについて説明 できるようになること。	◎										◎						
教育学Ⅰ B131-271-01	教育学は、人がよりよく生きるた めに欠かせない「教育」を対象とす る学問である。その特徴は哲学、 歴史学、社会学、行政学などの学 問を基礎とした学際的な性格にあ り、本授業では教育を様々な角度 から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解 できるとともに、その基礎知識や 概念を活用して現代の教育状況 について多面的に考察でき、さら に自らが社会の形成者として教育 についての意見を持つことができ ることを目指す。	◎										◎						
教育学Ⅱ B131-271-02	教育学は、人がよりよく生きるた めに欠かせない「教育」を対象とす る学問である。その特徴は哲学、 歴史学、社会学、行政学などの学 問を基礎とした学際的な性格にあ り、本授業では教育を様々な角度 から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解 できるとともに、その基礎知識や 概念を活用して現代の教育状況 について多面的に考察でき、さら に自らが社会の形成者として教育 についての意見を持つことができ ることを目指す。	◎										◎						

[illegible]

経済学部 カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー (DP)																
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP2		E-DP3			E-DP4				E-DP5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーション能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
統計学Ⅱ B131-603-02	統計の問題を解くことを通して、より進んだ統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ、より進んだ統計的な手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。	◎	◎		◎													
物理学Ⅰ B131-420-01	身近な現象を題材にして、生活や社会に密接に関わっている「物理」を学ぶ。	なぜ?という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。	◎													◎			
物理学Ⅱ B131-420-02	身近な現象を題材にして、生活や社会に密接に関わっている「物理」を学ぶ。	なぜ?という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。	◎													◎			
化学Ⅰ B131-420-11	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの?」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。	◎													◎			
化学Ⅱ B131-420-12	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの?」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。	◎													◎			
生物学Ⅰ B131-420-21	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。	◎													◎			
生物学Ⅱ B131-420-22	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。	◎													◎			
仏教と現代社会Ⅰ B231-112-01	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる					◎							◎		◎			
仏教と現代社会Ⅱ B231-112-02	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる					◎							◎		◎			

経済学部　カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー　(DP)																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP-2		E-DP-3			E-DP-4				E-DP-5		
			基礎的学士力					基礎的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
禅と人間Ⅰ B231-112-11	禅の概要および禅宗の特徴を概説し、禅語(公案)を通じて禅の思想を解説するとともに、坐禅の実習によって禅の修行を体感する	坐禅や公案の学習などの禅の修行生活の重要な要素を通じて、禅の本質を理解する					◎							◎		◎			
禅と人間Ⅱ B231-112-12	中国および日本における禅宗の歴史や思想を概説し、禅の影響のもと成立した茶道・絵画・建築・陶磁器・書などの日本独自文化を解説する。	禅と日本文化との関係を具体的に理解し、禅によって培われた日本独自の美意識や感性を体得する					◎							◎		◎			
生命に関する諸問題Ⅰ B231-118-01	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見い出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。												◎		◎			
生命に関する諸問題Ⅱ B231-118-02	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見い出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。												◎		◎			
人間行動の理解Ⅰ B231-285-01	心理学で扱う理論や事象は実験や調査で得られたデータに基づいている。本講義では、実際に実験を行い、仮説検証の考え方からデータの収集方法、結果の解釈に至るまで、心理学の基本的な方法論について理解を深める。	心の仕組みや働きを明らかにするための様々な方法論を理解したうえで、科学的な手続きと正確なデータ収集の重要性を認識し、さらにそれらをまとめて論理的な報告書の作成ができるようになること。			◎									◎		◎			
人間行動の理解Ⅱ B231-285-02	フロイトの精神分析の口語版といわれる「交流分析」の理論と実践について学ぶ。交流分析は、パーソナリティ理論やコミュニケーション理論を含む心理療法のひとつであり、自己洞察を繰り返すことで、より良い人間関係と自己の生き方を築くことを目指す。	自己理解と他者理解を深め、よりよいコミュニケーションと自己の問題点の把握と改善へつなげること。			◎									◎		◎			
人間の尊厳と平等Ⅰ B231-261-01	本授業では、これまでに人間社会が形成してきた人権について、様々な歴史的事例や条文などの学びを通して、人権の基礎を習得する。	人権の成立過程や現代における課題を学び、一人一人の人間性を尊重し、他者と協調できるようになる。また、差別について批判的精神を養う。												◎		◎			

経済学部　カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー（DP）																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP-2		E-DP-3			E-DP-4				E-DP-5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
人間の尊厳と平等Ⅱ B231-261-02	本授業では、社会福祉の成立過程を学びながら、「福祉国家」や「社会福祉事業」への理解を深め、社会福祉の基礎を習得する。	社会福祉の学びを通して、一人一人の人間性を尊重し、多様な価値観を理解できるようになる。そして、自ら社会貢献が積極的に可能になることを目指す。											◎		◎				
日本の文化と社会Ⅰ B231-162-01	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。					◎						◎						
日本の文化と社会Ⅱ B231-162-02	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。					◎						◎						
アジアの文化と社会Ⅰ B231-163-01	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。					◎						◎						
アジアの文化と社会Ⅱ B231-163-02	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。					◎						◎						
ヨーロッパの文化と社会Ⅰ B231-165-01	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。					◎						◎						
ヨーロッパの文化と社会Ⅱ B231-165-02	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。					◎						◎						
英語圏の文化と社会Ⅰ B231-804-01	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解できる					◎						◎						
英語圏の文化と社会Ⅱ B231-804-02	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解して説明できる					◎						◎						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

経済学部 カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー (DP)																
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP2		E-DP3			E-DP4				E-DP5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
スペイン語Ⅲ(総合) B134-149-41	スペイン語Ⅰ、Ⅱを学んだ学生に向けた授業。過去形など中級程度の内容を学び、演習を多く行う。	会話や文字などさまざまな手段で、自分の気持ちにある程度自由に表現することができる。			○														
スペイン語Ⅳ(総合) B134-149-42	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを学んだ学生に向けた授業。命令形や反実仮想といった上級レベルの表現を学ぶ。	辞書を使えば大きな支障なく相手とスムーズなやり取りができる。			○														
スペイン語会話Ⅰ B134-149-51	先生や学生どうしでのコミュニケーションを通して、正しい発音を身につけつつ挨拶など基礎的な表現を学ぶ。	挨拶、簡単な自己紹介、日常の動作といった基本的な表現を覚え、簡単なコミュニケーションが取れるようになる。			○														
スペイン語会話Ⅱ B134-149-52	スペイン語会話Ⅰを履修した学生を対象に、嗜好や予定などさらにバリエーション豊かな表現を学ぶ。	繰り返し練習を重ね、辞書を使ってさらに複雑なコミュニケーションが取れるようになる。			○														
スポーツ科学Ⅰ B115-592-01	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。			○											○			
スポーツ科学Ⅱ B115-592-02	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。			○											○			
スポーツ科学Ⅲ B235-592-03	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。『生涯健康の理論と実践の統合』を目標とする。														○			
スポーツ科学Ⅳ B235-592-04	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。『生涯健康の理論と実践の統合』を目標とする。														○			
海外事情Ⅰ B139-852-01	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。			○		○						○	○					

[illegible]

経済学部　カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー（DP）																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP-2		E-DP-3			E-DP-4				E-DP-5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
キャリア英語Ⅰ・Ⅱ E111-144-01 E111-144-02	実用的な英語力、特にビジネス シーンで生かせる英語力の育成を 目指して、TOEICを中心とした演 習を行う。	基礎的な英語表現を確認するとと もに、ビジネスシーンにおいて使 用される語彙や表現を新たに学ん で、実用的な英語表現を多く修得 する。			◎														
情報リテラシーＡ・Ｂ E111-277-01 E111-277-02	大学における学習や研究活動、さ らには就職活動や就職後の社会生 活まで見越した情報リテラシー （ビジネス系ソフトウェアの基礎 的技能とICT全般の基礎的知識） を学ぶ。	文書編集のWord、表計算の Excel、プレゼンテーションの PowerPointといったソフトウェ アの基礎的な操作方法とセキュリ ティや情報モラル等を含めたICT 全般の基礎的知識が身につく。				◎													
経済統計学Ａ・Ｂ E221-233-01 E221-233-02	経済現象を客観的に捉えるための 知識と手法を身につけることを目 指し、SNA関連指標をはじめとす る経済統計の特徴と、経済データ を分析するための統計的手法につ いて説明する。	・経済統計と経済理論との関連を 理解することができる。 ・基本的な統計的手法の要点を理 解し、経済データの特徴を客観的 に捉えることができる。 ・Excelを用いて経済データを分析 することができる。		◎				◎	◎										
経済学史Ａ・Ｂ E221-232-01 E221-232-02	経済学という学問がいかにして誕 生したか、それが近代社会の発展 とともにどのように発展してきた か、メジャーな経済学者を取り上 げて講義する。	経済学の発達史を学び、多様な経 済学・経済についての多様な理解 があることを知り、経済という人 間の営みについて幅広い柔軟な理 解を獲得する。						◎	◎										
一般経済史Ａ・Ｂ E221-237-01 E221-237-02	ヨーロッパ・アメリカの経済社会 の誕生、確立、発展、変容の歴史 過程を概説したのち、ヨーロッパ とアジアの比較の視点を中心に、 アジアから見た世界経済の歴史を 講述する。	経済史の基本概念および世界経済 の歴史的展開に関する基礎知識を 身につけ、現代の経済社会の状 況を歴史的視角から把握できる力 （歴史的思考力）を培う。						◎	◎										
経済政策論Ａ・Ｂ E221-234-01 E221-234-02	政府は市場で効率的に配分できな い財・サービスを規制や制度（ルー ル）を用いることで、できるだけ 効率的に配分できるようにする。 政府の政策を具体的な事例で理解 する。	市場の役割と政府の役割を理解す る。政府の役割に関して、政策の 理論とその解決策を具体的な事例 から学ぶ。						◎	◎		◎								

[illegible]

経済学部　カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー　(DP)																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP-2		E-DP-3			E-DP-4				E-DP-5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
ミクロ経済学Ⅲ E231-231-03	ミクロ経済学Ⅲでは、一般均衡理論を説明する。一般均衡理論とは、複数の財を消費する消費者と生産者の市場における取引を分析する理論で、大学の経済学部で学ぶ標準的な経済理論である。1年次配当科目であるミクロ経済学ⅠとⅡの内容を用いる。また、数式を多用するため、経済数学ⅠとⅡの内容の復習を必要とする。大学院進学を目指す場合、この授業の内容の理解は必要なので、進学を希望する場合は受講を勧める。	・選好関係と効用関数の関係について説明できるようになること。 ・消費者の最適化問題を解いて需要関数を導出できること。 ・エッジワースボックスを説明できるようになること。 ・生産者の最適化問題を解いて供給関数を導出できること。 ・ワルラス均衡を求められること。 ・パレート効率性について説明できるようになること。 ・厚生経済学の第一基本定理を説明できるようになること。	◎								◎								
マクロ経済学Ⅲ E231-231-06	マクロ経済学Ⅰ・Ⅱの内容をもとに、主に景気循環理論と経済成長理論について説明する。経済成長理論では、供給サイドに注目した理論と、需要サイドに注目した理論の両方を扱う。本講義を通じて、経済全体の活動水準が変化する仕組みと、経済全体の量的規模が拡大する仕組みを学ぶ。	・投資が需要サイドと供給サイドに与える影響を説明することができる。 ・基本的な景気循環理論の要点を理解し、景気変動の仕組みを説明することができる。 ・基本的な経済成長理論の要点を理解し、経済成長の仕組みを説明することができる。	◎								◎								
計量経済学 A・B E331-233-03 E331-233-04	経済理論や数学を用いて経済モデルを構築し、現実を観測された経済データを用いて統計的にモデルを推定・検定し、シミュレーションを行うことを通じて、数量的に経済事象の分析を行う。	記述統計、最小二乗法、重回帰モデル、回帰モデルの検定等の基礎知識を用いて、数量的に経済事象を分析することができる。		◎							◎	◎							
社会思想史 E331-232-03	古代から近代、現代までのメジャーな思想家は社会について、どのように把握し、人間はどのような社会に生きることが望ましいと考えたかを振り返る。	メジャーな思想家の仕事を知って、社会についての多様な見方があることを認識する。					◎				◎	◎							
日本経済史 A・B E331-237-03 E331-237-04	7世紀から21世紀初頭までの日本の対外関係や政策に加えて、生産・流通・消費の諸側面を含めた多様な側面から経済史を捉える。	日本経済の歴史的変遷を理解して、現代の経済状況を歴史的視点から考察することができる専門知識を身につける。					◎				◎	◎							

経済学部　カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー　(DP)																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP-2		E-DP-3			E-DP-4				E-DP-5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
西洋経済史A・B E331-237-05 E331-237-06	西洋経済史Aは中世から近世、西洋経済史Bは近代から現代を対象期間として、ヨーロッパとアメリカの発展について講義します。市場、資本主義、産業革命・工業化、戦後経済秩序の形成をキーワードとして、現在の社会がどのように形成されてきたのかについて経済史の側面から議論します。	ヨーロッパとアメリカを対象として、社会を形作る制度の成り立ちを理解し、現代における諸課題を理解できるようなるために経済史にかんする専門的知識を身につける。																	
労働経済学A・B E331-235-07 E331-235-08	標準的な労働経済学を講義する。労働経済学Aでは労働市場の理論分析と労働市場の現状、労働経済学Bでは労働経済学の理論の応用や人的資源管理論などを扱う。	経済学の基礎理論が賃金や雇用の問題を分析する際にどのように応用されるのかを理解すること、労働に関する統計を読み解くことができるようになることが目標である。																	
環境経済学A・B E331-234-15 E331-234-16	環境経済学の基本的概念、考え方について詳しくわかりやすく講義する。環境経済学の課題と方法、現代資本主義と環境破壊のメカニズム、環境ガバナンス論、環境費用論、環境の経済的評価などについて、事例に基づいて説明する。	環境経済学のテーマに則して、基礎的概念として、「環境とは何か」「サステナビリティとは何か」「人間と自然のあいだの物質代謝」「廃棄物の経済学的分析」「地球環境問題」などスライドやビデオも使用して理解を進める。																	
環境政策論 E331-234-23	環境問題は経済問題であることを踏まえて、環境問題を経済学的視点から検討する。そして、「地球温暖化防止」、「エネルギー供給」、「廃棄物の削減」、「生物多様性の保全」などをテーマにして、環境問題の緩和のためにどのような環境政策(経済的手法)が用いられているかを説明する。	環境問題が発生する基本的な原因が経済活動にあることを理解し、環境問題の緩和や解決には経済活動に影響を与える環境政策が必要なことを理解する。そして、そうした環境政策がどのような経路で経済活動に影響を与えるのかを理解する。																	
都市経済学A・B E331-234-17 E331-234-18	都市の集積の経済および付け値地代の理論を学ぶことによって、農業、工業、商業、住宅、観光の立地を明らかにして、都市の空間構造を理解する。	都市の立地構造を学ぶことによって、商圏およびレジャー・観光施設の分析に応用することができるようになり、これらと関連する「まちづくり」についての理解を深める。																	

経済学部　カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー　(DP)																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP-2		E-DP-3			E-DP-4				E-DP-5		
			基礎的学士力					基礎的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
公共経済学 A・B E231-235-05 E231-235-06	公共経済学Aでは、ミクロ経済学を応用して、公共財が存在する市場における資源配分とその効率性について説明する。公共経済学Bでは、外部性と呼ばれる問題について説明する。外部性には負の外部性と正の外部性と呼ばれるものがあり、負の外部性を学習することは公害問題や環境問題の理解につながり、正の外部性を学習することは教育や医療に関する問題の理解につながる。春学期開講の公共経済学Aで説明する公共財と合わせて学習することで、様々な社会問題を理論的に理解し、解決方法を考えることができるようになる可能性がある。	・公共財とは何か説明できるようになること。 ・公共財に関するサミュエルソン条件を説明できるようになること。 ・ゲーム理論の基本を理解すること。 ・囚人のジレンマのゲームを用いて公共財のただ乗り問題を説明できるようになること。 ・クラークメカニズムを理解すること。 ・外部性とは何かを説明できるようになること。 ・外部性が存在するときに資源配分が非効率的になることを説明できるようになること。 ・外部性の解決方法について説明できるようになること。 ・展開形ゲームを理解できること。 ・部分ゲーム完全均衡を求めることができること。																	
農業経済学 A・B E231-411-01 E231-411-02	農業が安全な食料の供給だけでなく、環境保全や国土管理といった多面的機能を果たしていることを学び、これらの機能発揮のために必要な制度や政策、市場の状態について理解する。	現代の農業問題の背景を知り、制度や政策、市場が問題解決のために有効に機能するためにはどうしたらよいのか、自らの意見を述べることができるようになる。																	
農業政策論 E331-411-03	現代の食料・農業・農村の政策課題について学び、日欧米諸国における政策動向やオルタナティブの追求について、家族農業経営に焦点を当てながら理解を深める。	(1)食料・農業・農村政策に関する専門的なキーワードを理解し利用することができる、(2)世界の主要な食料・農業・農村政策について、その背景と目的、効果と課題を説明できる、(3)世界の食料・農業・農村政策の潮流とその変化、日本の役割について、自分の意見を述べることができるようになる、ことを到達目標とする。																	

経済学部　カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー（DP）																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP-2		E-DP-3			E-DP-4				E-DP-5		
			基礎的学士力					基礎的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
現代産業論 A・B E231-234-07 E231-234-08	現代の高度に発展した経済は、 様々な生産活動＝産業から成り 立っている。A では産業間の関係 (産業連関)と現代日本の産業構造 について学ぶ。B では日本の産業 構造の変化と経済成長について学 ぶ。	A：分業の意義や産業間の関係(産 業連関)などについて理解する。 B：産業構造の変化とその要因、 戦後の日本経済における産業構造 の変化と経済成長などについて理 解する。								◎	◎								
企業経済学 E331-238-02	企業の構造や意思決定、取引、戦 略などの企業経営をめぐる基本的 なトピックについてミクロ経済学 の考え方を応用して体系的に解説 することを目的としている。	本講義を受講することにより、学 生は市場の仕組みを経済学の視点 からより詳しく学び、ビジネスと 経済のつながりについて、理解を 深めることが期待される。								◎	◎								
社会保障論 E331-235-11	社会保障の発展過程を概観するこ とでその役割や理念等を理解し、 その上で、とくに日本における社 会保障制度の課題を検討する。	日本の現行社会保障制度が直面し ている具体的な課題を理解し、そ れについて自分自身の意見が持て るようになる。								◎	◎								
産業組織論 E331-234-14	市場支配力を生み出す企業戦略の 考え方を身につけると同時に、そ うした市場が生み出す効率性の問 題や、それらに対処するための経 済政策について学んでいく。	１．価格差別についてその種類や 特徴を理解できる。 ２．費用逓減産業における規制に ついて理解できる。 ３．ゲーム理論を用いた企業間競 争について理解できる。 ４．合併の事例や効果について理 解できる。								◎	◎								
地域経済論 E231-234-09	地域の経済・産業の特色・課題や、 それらの基礎をなす地域経済の構 造(しくみ)について、理論・歴史・ データを参照しながら学習する。 パソコンでの分析実習も行う。	①地域分類ごとに、各地域の経済・ 産業の特色・課題を知る。 ②地域経済の基礎をなす地域経済 の構造について理解する。 ③地元(市町村など)の地域経済に ついて自分なりに分析し把握でき るようになる。								◎	◎								

経済学部 カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー (DP)																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP2		E-DP3			E-DP4				E-DP5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーション能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
中小企業論 E331-238-05	日本の企業のなかで中小企業は99%を占めている。もともと経営学という学問は主に大企業を対象として形づくられているが、経営学部で学ぶからには99%という中小企業にも関心を寄せてほしい。本講義では、中小企業およびその経営・戦略について、正しく理解することを狙いとする。	経営学部の他の授業ではまともて学ぶ機会のない中小企業を対象としているため、中小企業概念規定から始めて、中小企業の存立形態、経営・戦略上の特徴、経営者の役割について学習する。そうした学習を通じて、大企業と中小企業との違いについて具体的に明確な説明ができるようにする。								○	○								
国際貿易論A・B E231-234-10 E231-234-11	現在の経済は貿易を無視することはできず、欧米やアジア各国との貿易が日本経済を左右している状況である。貿易の基礎理論とその影響について理解を深める。	自由貿易、国際収支やT P P、経済連携協定など貿易に関した話題は日々途絶えることがない。その言葉の意味や目的、政策選択が及ぼす影響などを理解する知識が習得できる。								○	○								
国際金融論A・B E231-236-04 E231-236-05	国際金融に関する基礎的な用語、理論、制度を学ぶとともに、新聞や雑誌を使って時事的な問題について理解を深める。	国際金融の用語、理論、制度の枠組みに関する知識を身につけることにより、現実起こっている国際金融の複雑な問題を正しく理解できるようになる。								○	○								
開発経済学A・B E231-234-19 E231-234-20	新興諸国における貧困・人口爆発・教育衛生問題、開発独裁などが先進諸国での繁栄と同時進行している現代的課題について理論的な考察を行う。	地球規模での所得格差が経済のグローバル化とともに拡大している現状を理解することにより、開発援助や国際協力に対するポジティブな識見を培養することができる。					○			○	○								
アジア経済論 E331-234-21	日・韓自動車産業のものづくり型の比較を通じて、自動車や家電からインフラおよび重工業の分野にまで広がる日本の製造業の可能性を展望する。	製造業のものづくりの史的な転換と技術的進歩の仕組みが解り、ものづくりを基盤とする製造業ビジネスと業界の将来について見極める基礎的能力が培われる。					○			○	○								
欧米経済論 E331-234-22	ヨーロッパの社会・経済が現代に至るまでいかなる経緯を経て成立したのかを理解し、これをふまえて今日のヨーロッパ社会が抱える問題について考える。	講義を通じて得た知識などに基づいて、問題の源泉がどこにあり、どのような経緯を経て今日の問題となっているのかを理解する。その上で、それらの問題について自分なりの意見を確立することを目指す。					○			○	○								

経済学部 カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー (DP)																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP2		E-DP3			E-DP4				E-DP5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
多国籍企業論 E331-238-01	企業の経済活動のグローバル化の急速な進展によって今や業種を問わず大企業とともに中堅・中小企業も多国籍化してきている。そこで企業が多国籍化する基礎理論と実践的な知識の両方を学習する。	現代では大企業や中堅企業に限らず中小企業やベンチャー企業までが多国籍化を余儀なくされている。なぜ企業は多国籍化するのかを戦略面やコミュニケーション面を中心に体系的に理解し、実践できるようにする。								◎	◎								
金融システム論 E231-236-03	前半では、我が国の金融機関の業態、機能、取り扱い金融商品について学ぶ。後半では、金融システム安定化のために実施されるブルーデンス政策について学ぶ。	我が国の金融システムにおける各種金融機関の役割を知るとともに、金融システム安定化政策の重要性について理解する。								◎	◎								
金融政策論 E331-236-06	中央銀行の役割や金融政策の効果・手段、金融政策の歴史について学ぶ。理解を深めるため、金融に関するトピック的な話題も盛り込んでいく。	金融政策の目的・手段・効果について理解するとともに、現実に行われている金融政策が実体経済に及ぼす影響について理解・説明することができるようになる。								◎	◎								
ファイナンス論 E331-236-07	ファイナンスは資金の流れに伴う広い領域を対象とするが、本講義では資金の運用サイドからみた投資理論と調達サイドからみたコーポレート・ファイナンスの基礎を学ぶ。	投資理論やコーポレート・ファイナンスを学ぶことにより、資本市場における資産価格の決定、企業における資金調達や投資案件の評価、投資家による資産運用、の仕組みや方法が分かるようになる。								◎	◎								
地方財政論A・B E331-235-09 E331-235-10	地方の歳入・歳入構造及び予算制度を学んだ上で、地方税制、国と地方との財政的關係、地方分権について検討する。最終的には、「活力ある、豊かな地方」を確立するための政策論を展開していきたい。	地方の財政制度、地方税制及び国と地方の財政的關係を学ぶことによって、自らが帰属する県や市町村の財政状況の「良し悪し」を分析できる能力を培うことができる。								◎	◎								
会計学A・B E231-240-01 E231-240-02	会計とは、経済主体の経済活動について、関わりを持つ人々が、事情を分かった上で判断や意思決定ができるように、彼らに説明する社会的な行為である。会計とは何かから始め、会計の基本的な知識と考え方を習得する。	会計の考え方を身につけ、会計に関する幅広い知識を習得する。財務諸表を読んで判断や意思決定ができるようにする。								◎	◎								

経済学部　カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー（DP）																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP-2		E-DP-3			E-DP-4				E-DP-5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
租税制度論A・B E231-212-03	赤字財政が続く今、国民にはいざさらなる租税負担が求められることになる。財政の問題や租税の役割などお金の面から政策を考えることが重要である。財政や租税法の基本原則、問題点、また種々の個別税法の仕組み、税務調査や更正・決定処分など税金に関する基礎的事項を学習する。	生活する上で必要な種々の税金（租税）の基礎知識、税金の算出方法、計算過程、税金に関する問題の対処法などを理解する。								◎	◎			◎					
経済情報論A・B E331-234-26 E331-708-01	経済活動における最新のICT活用事例や日本のICTによる経済成長メカニズムを知るのと同時に、社会変化の裏側にあるICTの知識を理解する。その後、社会を支え高度な経済分析にも有用なデータベースに着目し、その理論や技能を学ぶ。	ICTが経済に及ぼす影響について知ることができるのに加えて、ICTの知識を学習することで汎用的かつ応用可能な情報に関する素養が身につく。さらに、データベース理論やデータベース管理システム（Access）の技能が習得でき、経済データの管理といったことができるようになる。				◎													
経済情報処理A E231-233-05	経済分野における事例にふれながら、数値計算、データベース機能、グラフ作成、関数設定などを学習する。Excelの操作方法といったスキルの修得にとどまらず、課題に対して自ら考え、その結果をまとめていく能力を養う。	経済分析の初歩的な情報処理の知識と技能が習得でき、レポートや卒業論文の作成、就職後のビジネス実務で活用できる情報処理能力が身につく。				◎													
経済情報処理B E231-233-06	民間企業や政府・自治体では、経済の動きやプロジェクトの収支などを予測して、その結果を判断に活かすことが多い。このときに利用される、数式モデルを使ったシミュレーションの考え方と方法について実践的に学習する。	①数式モデルを使ったシミュレーションの考え方について理解する。②必要になる基礎的な数学とエクセル関数を身につける。③表計算ソフト（エクセル）を使って基本的なシミュレーションができるようになる。				◎													
国際法A・B E231-213-01 E231-213-02	条約や慣習法に関する国際法の基礎から、人権、環境、経済等国際法上の個別テーマまで体系的に学び、現代国際社会が国際法により規律されていることについて理解を深める。	国際法の基礎的・体系的知識を修得するとともに、国際社会における歴史上の事実や時事問題について国際法の観点から評価することができる。											◎						

経済学部　カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー（DP）																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP-2		E-DP-3			E-DP-4				E-DP-5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
財務会計論Ⅰ・Ⅱ E331-240-03 E331-240-04	A：21世紀の会計の展開方向を確認しながら、それを支援する会計システムとしての共益三元簿記の概要を説明する。 B：21世紀の会計の展開方向を確認しながら、その展開を指導する新概念フレームワークについて、新旧の違いを明らかにして、近年姿を現してきた会計の大転換の内容を説明する。	A：1．パチョーリの神聖簿記論の理念を理解する。 2．新しい会計システムの構造を理解する。 3．資本主説と企業主体説の違いを理解する B：1．新旧の概念フレームワークの違いを理解する。 2．新しい会計が新資本主義への移行を促すことを理解する。 3．営利会計と非営利会計の統合について理解する。								◎	◎								
国際会計論Ⅰ E331-240-05	国際会計の目標は「どこの国で作られたものであっても、国際的に理解され、情報の利用者が、適切な判断と意思決定ができるような会計情報をつくりだし、伝達すること」である。その会計情報は「一組の国際的な会計基準」に基づいて作成される必要がある。この講義では、一組の国際的な会計基準の必要性和各国の会計システムについて学習する。	一組の国際的な会計基準の必要性について説明できるようにする。各国の会計システムについて説明できるようにする。国際的な会計基準の調和化および統合について説明できるようにする。								◎	◎								
国際会計論Ⅱ E331-240-06	国際会計の目標は「どこの国で作られたものであっても、国際的に理解され、情報の利用者が、適切な判断と意思決定ができるような会計情報をつくりだし、伝達すること」である。その会計情報は「一組の国際的な会計基準」に基づいて作成される必要がある。この講義では、一組の国際的な会計基準の具体的な現れである国際会計基準審議会による国際財務報告基準の内容とそれによる国際的統合について学習する。	会計基準の国際的調和化から統合への歩みについて説明できるようにする。国際的会計基準の設定機関について説明できるようにする。IFRSに準拠して作成された財務諸表を読むことができるようにする。国際的な会計基準の統合によってより良き社会が実現できるかについて自分の考えを述べることができるようにする。								◎	◎								

経済学部 カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー (DP)																
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP2		E-DP3			E-DP4				E-DP5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
マーケティング論Ⅰ・Ⅱ E331-239-01 E331-239-02	企業のマーケティング活動とは、「動態的に変化していく市場や環境に対し、企業が創造的に適応していく対市場活動」である。この授業では、マーケティング論の体系のうち、基礎的・総論的な内容について学ぶ。	ビジネスにおいて必要とされる、マーケティングの基礎的な概念や理論を身につけることができ、将来、自らマーケティング戦略を策定し、実行するための基本的な能力を修得することができる。								◎	◎								
グローバル・マーケティング論 E331-239-03	経済のグローバル化に伴い、ビジネスは多面的に展開される。本講座では、国際マーケティングについて、概要と諸理論に関する基礎と、その応用事例を学ぶことで、マーケティングの全体像を理解する。	国際情勢における経済の仕組み、経営活動におけるマーケティングの位置づけを理解することにより、地域社会における多様性に考えを及ぼすことができる。これにより問題点の発見、原因の解析、その解決策について多面的に考察する態度を養うことができる。								◎	◎								
総合民法 E231-216-01	民法の中で、財産の帰属や取引に関わる財産法について学ぶ。財産法の基礎にあたる民法総則、物の帰属や移転に関わる物権法、契約や貸金の回収に関わる債権法の中から、経済活動にとって特に重要な項目について学習する。	民法についての大まかな知識を獲得することができる。問題が生じた際に、その問題を解決するための考え方を身につけることができる。												◎					
租税法A(基礎) E231-212-01	本講義では、最近の租税に関する事例を題材として、租税法の基本原則、税金の種類と計算方法、申告と納税、税務調査と不服申立てなど基本的事項を修得する。	租税法の基礎知識を修得することができる。これにより、経済取引における予測可能性を確保するための税務の知識を養うことができる。												◎					
企業と法 E231-216-02	本講義では、会社についての法的な概念について学んだ上で、会社法の内容の中核である株式会社をめぐる法規制の基礎を学ぶ。	会社の役員が会社の運営を行ううえで遵守しなければならない規範の基礎を理解することができる。また、法的視点から見た株式会社のあり様についての知識が身につく。												◎					
行政法Ⅰ(総論) A E231-212-02	行政法の全体像および行政法総論の基礎的知識を学ぶ。	行政法の基本原理や独自のしくみを理解し、論理的文章で説明できる。												◎					
行政法Ⅰ(総論) B E331-212-03	行政法総論の現代的課題に関する発展的知識を学ぶ。	行政活動に対する法的統制の現状を分析し、論理的文章で説明できる。												◎					

経済学部 カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー (DP)																
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP2		E-DP3			E-DP4				E-DP5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーション能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
行政法Ⅱ (各論) E331-212-01	行政救済法などの行政法領域に関する発展的知識を学ぶ。	各領域における行政法理論の動向を分析し、論理的文章で説明できる。												◎					
中部経済論 E231-234-12	[財務省東海財務局の提携講座] 財務本省及び東海財務局などの現役財務省職員が講師として登壇し、財務省・金融庁の視点から「財政」「税制」「金融」等について講義が展開される。	財政、金融及び経済等に関する実践的な知識を身につける。											◎						
地域ビジネス論 E231-238-03	本講義のテーマは、商業を中心に地域に根差したビジネスの活性化策を模索することである。停滞または衰退地域のビジネス(商業集積、商店)の活性化およびまちづくりを進めるための理論的枠組みと実践的手法を学ぶ。	地域ビジネス活性化はまちづくりと関連することから、履修者が、地域資源調査、街区調査、立地分析、都市計画、生活者行動調査等々の手法により問題を分析し、地域ビジネス活性化とまちづくりの提言ができる能力を身につけることができる。											◎						
エリア・リサーチⅠ E232-234-13	地域経済の振興を担うシンクタンク(政策研究機関)である中部圏社会経済研究所と連携し、地域経済を分析するために必要な知識や事例等を学ぶ。	地域経済に関する知識、経済分析手法の把握する素養、それらを駆使して地域経済に対する提案を行う力、さらにフィールドワークを行うことで協働の実践力が身につく。										◎	◎						
エリア・リサーチⅡ E232-239-05	この講義では、中部地域に立地する企業の事例研究を行う。この事例研究は、我が国の中でも製造業が集積する地域のひとつである中部地域の製品戦略を組織間関係の視点で学習することにある。	この講義では、製品化、組織間関係、ブランド戦略を中心に、中部地区における企業の事例研究を通して企業の優位性と課題を見出す力を養っていく。そのためには、マーケティング関連科目の理解も深めていく。										◎	◎						
エリア・リサーチⅢ E232-238-06	ソーシャルビジネスに関するプロジェクトへの参画を通じ、実践的な学びを行う。グループ単位の活動がメインとなり、集団での成果実現に関する感覚も磨かれる。自らの能力を理解し、それらを伸ばすための更なる学習につなげていく。	(1) 成果の達成、(2) 成果達成に関連する個と集団との関係、学外者との関係維持、プロジェクトの厳しさや楽しさなどを実践を通じて生きた言葉で表現できるようになること、(3) 自らの能力理解について表明できるようになることが目標である。										◎	◎						

[illegible]

経済学部 カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー (DP)																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP2		E-DP3			E-DP4				E-DP5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーション能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
経済学特講Ⅰ E331-238-04	民間企業の管理部門で勤務経験のある教員が、その経験を活かし、企業活動の土台を支えるガバナンス、内部統制、リスクマネジメントという経営管理に関する項目を説明し、企業の社会的な責任について考察する。	企業の持続的な存続に不可欠な項目について理解する。関連する新聞記事を読み、自分の意見を述べるができる。ケーススタディの内容を理解し、論理的根拠に基づく意思決定を行う。グループ討議で最適解を導く協働を実践できる。											◎	◎					
経済学特講Ⅱ E331-234-25	インドを中心に南アジア地域の経済発展の特徴・形態について、その背景や要因を経済的な視点だけでなく政治的、文化的な視点を含めて考察する。	現代の南アジア経済に関する基本的な知識を習得し、グローバル化が進む中で身近になりつつある南アジア社会に関心を持ち、自分の生活とも密接に結びついていることを理解することを目標とする。							◎	◎	◎								
経済学特講Ⅲ E331-234-27	社会主義経済と社会主義市場経済という時代背景の下で、現代中国経済成長に対する理解を深めることを目的としている。具体的には、計画経済から社会主義市場経済への移行、WTO加盟後における各時期の出来事(制度・政策的、経済的な側面)について、さまざまな視点から取り上げる。さらに、中国経済の特徴、成長要因、経済政策などの基礎を解説する。	なぜ中国経済は他の先進国とは異なる歩みでここまで成長できたのか、中国経済が世界の中でどのような役割を果たしているのかを理解する。また、物事を捉える際には、政治的な視点だけでなく、歴史的および制度的な視点から考えることができるようになる。							◎	◎	◎								
経済学特講Ⅳ E231-234-24	現在さまざまな課題を抱える日本であるが、第二次世界大戦後の廃墟の中から甦ってきた歴史がある。それはどうして可能になったのか。東西冷戦という現代史の中で、今後に生かすヒントを得る。	日本と世界の現代史と現状を把握する方法を学び取り、それらを基盤にして将来の社会の在り方と自らの対応の仕方を、自分の力で考えることができる能力を身につける。											◎						
経済学特講Ⅴ E231-235-12	政治(行政)は社会のあらゆる分野と深いかわりを持つ。政治の実態を知ることは、地域社会や経済の課題を理解するうえで極めて重要である。知事・市長の経験から等身大の政治(行政)の姿を伝えたい。	多面的なものの見方やその背後にある真実を見抜く力を養ってほしい。政治に関心のある学生を大いに歓迎する。											◎						

[illegible]

経済学部　カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー（DP）																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP-2		E-DP-3			E-DP-4				E-DP-5		
			基礎的学士力					基礎的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
産官民提携講座Ⅱ E231-861-03	「自分事」としてSDGs（持続可能な開発目標）の推進に関わり、他者や社会を巻き込んで、SDGsの達成に貢献するために必要な知識を幅広く学ぶ。	(1)SDGsの基本(理念、歴史、現状、未来)を説明できる。 (2)身近なトピックに即してSDGsの重要性を説明できる。 (3)「自分事」としてSDGsを捉え、SDGsの達成に資する具体的な行動変容のあり方を提案、説明できる。																◎	
産官民提携講座Ⅲ E231-861-04	「サステナブル・スマート」を目指す名城公園キャンパスの構想から建築に関わった実務家、省CO ₂ の効果測定に携わる研究者を招き、キャンパスをフィールドとして理想と現実を行き来しながら実際を学ぶ。	まず地球温暖化と都市温暖化の実際を理解し、次いで省CO ₂ を実現する必要と供給のエネルギー・マネジメントについて、工学的及び建築学的条件の最先端技術を学ぶ。																◎	
産官民提携講座Ⅳ E231-861-05	産業界や行政のみでは対応できない問題に、市民セクターがどのような取り組みをしているかを学ぶ実務家講義である。社会問題の解決に人を巻き込みながら果敢に挑戦する実務者(企業・行政・NPOなど)を講師として招聘する、社会連携センターが提供する「地域・社会連携コース」のひとつである。	第1に、社会課題とその課題解決の方法・実践を学び、生活者としての視野を広げ、自分も実践できることを考えることができる。第2に、講師との対話やグループでのディスカッションをとおして、コミュニケーション能力を高めることができる。																◎	
産官民提携講座Ⅴ E231-861-06	名古屋市内の商店街をフィールドとして、現地踏査、ヒヤリング等を含め、商店街の問題、課題を分析、課題解決のための提案を行う。学習活動は受講生で構成するチーム単位で行い、商店街に課題解決プランを提案する。	①課題解決の手法の修得とスキルアップ ②商店街等地域属性の調査、分析手法の周知と修得 ③今日の都市問題の理解とその解決への基本的視点の獲得 ④地域社会の課題に対して有用で独自性のある提案力の獲得																◎	

経済学部 カリキュラムマップ			経済学部のディプロマポリシー（DP）																
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1					E-DP-2		E-DP-3			E-DP-4				E-DP-5		
			基礎的学士力					基盤的学士力		発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基 礎力	数量的理 解力	コミュニ ケーショ ン能力	I C T 処 理能力	文化的理 解力	問題 発見力	論理的 思考力	応用的 分析力	問題 解決力	協働的 実践力	実践的 応用力	倫理的 判断力	総合的 構想力	生涯 学習力	基礎的 キャリア 形成力	社会人基 礎力	応用的 キャリア 形成力
産官民提携講座Ⅵ E231-861-07	社会保険労務士(社労士)の仕事領域を知ることを通じて、社会的課題へのアプローチ、「働き方改革」や「女性活躍推進」といったトピックを学ぶことをとおして、健全な働き方について実践的に理解することができる。 また、社会保険労務士の実際、資格を活かした働き方、労働法・社会保険関連の基礎知識を学修する。	ワークルールの理解、社会保険労務士の実際、資格を活かした働き方、労働法・社会保険関連の基礎知識を活用し、現実の事象を説明することができる。																◎	
インターンシップ E339-861-08	企業や行政機関など実際の職場での就業体験をとおして、働くことの意味や就職に向けて準備すべきことなどについて考える。事前研修、事前訪問、事後報告会によって研究成果を高める。	就業体験をとおして大学での学修成果を実践し、協働の場で活躍するために必要なことを再認識することができる。さらに今後の大学での学びや進路の方向性を定めることができる。																◎	

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項

VII. 諸規則

愛知学院大学学則・別表

※学則は大学ホームページで確認してください。



愛知学院大学履修に関する規程

愛知学院大学試験に関する規程

愛知学院大学試験における不正行為に関する規程

愛知学院大学 GPA 制度に関する内規

愛知学院大学特待生奨学金規程

愛知学院大学学生表彰規程

愛知学院大学学位記授与に関する規程

退学勧告の運用に関する細則

外国の大学等で修得した単位の認定要領

大学以外の教育施設等における学修に対する単位の認定要領

愛知学院大学仏教専修科規程

仏教専修科受講要領

※大学ホームページで確認してください。



緊急時の授業等取扱に関する内規（日進・名城公園キャンパス）

※大学ホームページで確認してください。



本学の個人情報保護に関する取組みについて

※大学ホームページで確認してください。



第 3 年次への進級に関する内規

卒業論文取扱い規程

単位互換履修（特別聴講）実施要領

※次ページ以降で確認してください。

部門	分野	授業科目名	単位数 必修 選択	備考
経済学部 経済学科	教養基礎科目	宗 教 学 I 2	4単位修得	
		宗教学 II 2		
		教養ゼミナー「学問の発見」I 1		
		教養ゼミナー「学問の発見」II 1		
		教養ゼミナー「学問の発見」III 1		
		教養ゼミナー「学問の発見」IV 1		
		心理学 I 2		
		心理学 II 2		
		哲学 I 2		
		哲学 II 2		
		論理学 I 2		
		論理学 II 2		
		文学 I 2		
		文学 II 2		
		美術 I 2		
		美術 II 2		
		法学 I 2		
		法学 II 2		
		政治学 I 2		
		政治学 II 2		
		社会学 I 2		
		社会学 II 2		
経済学部 経済学科	教養基礎科目	歴史学 I 2	4単位以上修得	
		歴史学 II 2		
		地理学 I 2		
		地理学 II 2		
		数学 I 2		
		数学 II 2		
		統計学 I 2		
		統計学 II 2		
		物理学 I 2		
		物理学 II 2		
		化学 I 2		
		化学 II 2		
		生物学 I 2		
		生物学 II 2		
		仏教と現代社会 I 2		
		仏教と現代社会 II 2		
		禅と人間 I 2		
		生命に関する諸問題 I 2		
		生命に関する諸問題 II 2		
		人間行動の理解 I 2		
		人間行動の理解 II 2		
経済学部 経済学科	教養基礎科目	人間の尊厳と平等 I 2	4単位以上修得	
		人間の尊厳と平等 II 2		
		日本の文化と社会 I 2		
		日本の文化と社会 II 2		
		アジアの文化と社会 I 2		
		アジアの文化と社会 II 2		
		ヨーロッパの文化と社会 I 2		
		ヨーロッパの文化と社会 II 2		
		英語圏の文化と社会 I 2		
		英語圏の文化と社会 II 2		
		人間と環境 I 2		
		人間と環境 II 2		
		情報と社会 I 2		
		情報と社会 II 2		
		産業と科学 I 2		
		産業と科学 II 2		
		ソフトウェア概論 I 2		
		ソフトウェア概論 II 2		
		健康科学 I 1		
		健康科学 II 1		
		英語 I a 1		
経済学部 経済学科	外国語科目	英語 I b 1	4単位修得(注1)	
		英語 II b 1		
		ドイツ語 I 1		
		ドイツ語 II 1		
		中国語 I 1		
		中国語 II 1		
		韓国語 I 1		
		韓国語 II 1		
		スペイン語 I 1		
		スペイン語 II 1		
経済学部 経済学科	外国語科目	ドイツ文化事情 I 2	2単位修得(注1)	
		ドイツ文化事情 II 2		
		中国文化事情 I 2		
		中国文化事情 II 2		
		韓国文化事情 I 2		
		韓国文化事情 II 2		

部門	分野	授業科目名	単位数 必修 選択	備考
経済学部 経済学科	外国語科目	英 会 話 I 1	2単位修得	
		英 会 話 II 1		
		英 会 話 III 1		
		英 会 話 IV 1		
		メゾイア英語 I 1		
		メゾイア英語 II 1		
		メゾイア英語 III 1		
		メゾイア英語 IV 1		
		英語表現法 I 1		
		英語表現法 II 1		
		英語表現法 III 1		
		英語表現法 IV 1		
		英語読解法 I 1		
		英語読解法 II 1		
		英語読解法 III 1		
		英語読解法 IV 1		
		実践英会話 I 1		
		実践英会話 II 1		
		実践英会話 III 1		
		実践英会話 IV 1		
		ドイツ語 I (基礎) 1		
		ドイツ語 II (基礎) 1		
		ドイツ語 III (基礎) 1		
		ドイツ語 IV (基礎) 1		
		ドイツ語 I (読解) 1		
		ドイツ語 II (読解) 1		
		ドイツ語 III (読解) 1		
		ドイツ語 IV (読解) 1		
		ドイツ語 I (表現) 1		
		ドイツ語 II (表現) 1		
		ドイツ語 III (表現) 1		
		ドイツ語 IV (表現) 1		
		ドイツ語 I (総合) 1		
		ドイツ語 II (総合) 1		
		ドイツ語 III (総合) 1		
		ドイツ語 IV (総合) 1		
		中国語 I (総合) 1		
		中国語 II (総合) 1		
		中国語 III (総合) 1		
		中国語 IV (総合) 1		
		韓国語 I (基礎) 1		
		韓国語 II (基礎) 1		
		韓国語 III (基礎) 1		
		韓国語 IV (基礎) 1		
		韓国語 I (読解) 1		
		韓国語 II (読解) 1		
		韓国語 III (読解) 1		
		韓国語 IV (読解) 1		
経済学部 経済学科	外国語科目	韓国語 I (表現) 1	2単位修得	
		韓国語 II (表現) 1		
		韓国語 III (表現) 1		
		韓国語 IV (表現) 1		
		韓国語 I (総合) 1		
		韓国語 II (総合) 1		
		韓国語 III (総合) 1		
		韓国語 IV (総合) 1		
		韓国語 I (読解) 1		
		韓国語 II (読解) 1		
経済学部 経済学科	外国語科目	韓国語 III (読解) 1	2単位修得	
		韓国語 IV (読解) 1		
		韓国語 I (表現) 1		
		韓国語 II (表現) 1		
		韓国語 III (表現) 1		
		韓国語 IV (表現) 1		

部門	分野	授業科目名	単位数 必修 選択	備考
専門教育科目	基礎科目	ミクロ経済学Ⅰ	2	20単位修得
		ミクロ経済学Ⅱ	2	
		マクロ経済学Ⅰ	2	
		マクロ経済学Ⅱ	2	
		経済数学Ⅰ	2	
		経済数学Ⅱ	2	
		キャリアアップ英語Ⅰ	2	
		キャリアアップ英語Ⅱ	2	
		情報リテラシーA	2	
		情報リテラシーB	2	
	経済統計学A	2		
	経済統計学B	2		
	経済学史A	2		
	経済学史B	2		
	一般経済学史A	2		
	一般経済学史B	2		
	経済政策論A	2		
	経済政策論B	2		
	社会政策論A	2		
	社会政策論B	2		
	日本経済論A	2		
	日本経済論B	2		
	国際経済学A	2		
	国際経済学B	2		
	金融論A	2		
	金融論B	2		
	財政学A	2		
	財政学B	2		
	ミクロ経済学Ⅲ	2		
	マクロ経済学Ⅳ	2		
	計量経済学A	2		
	計量経済学B	2		
	社会経済思想史	2		
	日本経済史A	2		
	日本経済史B	2		
	西洋経済史A	2		
	西洋経済史B	2		
	労働経済学A	2		
	労働経済学B	2		
	環境経済学A	2		
	環境経済学B	2		
	都市経済学A	2		
	都市経済学B	2		
	公共経済学A	2		
	公共経済学B	2		
	農業経済学A	2		
農業経済学B	2			
現代産業経済論A	2			
現代産業経済論B	2			
企業経営経済学	2			
社会保険経済論	2			
産業界経済論	2			
地域経済論	2			
中小企業業論	2			
国際貿易論A	2			
国際貿易論B	2			
国際金融論A	2			
国際金融論B	2			
開発経済学A	2			
開発経済学B	2			
アジア経済論	2			
欧米経済論	2			
多国籍企業論	2			
金融システム論	2			
金融政策論	2			
アジア経済論	2			
地方財政論A	2			
地方財政論B	2			
会計学A	2			
会計学B	2			
租税制度論A	2			
租税制度論B	2			
経済情報論A	2			
経済情報論B	2			
経済情報処理A	2			
経済情報処理B	2			
国際法A	2			
国際法B	2			
発展科目	第一類			76単位以上修得

76 単位以上修得

部門	分野	授業科目名	単位数 必修 選択	備考
専門教育科目 発展科目	第二類	財務会計論Ⅰ	2	76 単位以上修得
		財務会計論Ⅱ	2	
		国際会計論Ⅰ	2	
		国際会計論Ⅱ	2	
		マーケティング論Ⅰ	2	
		マーケティング論Ⅱ	2	
		グローバル・マーケティング論	2	
		総合民法	2	
		租税法A(基礎)	2	
		企業と法	2	
		行政法Ⅰ(総論)A	2	
		行政法Ⅰ(総論)B	2	
		行政法Ⅱ(各論)	2	
		中部経済論	2	
	地域ビジネス論	2		
	エリア・リサーチⅠ	2		
	エリア・リサーチⅡ	2		
	エリア・リサーチⅢ	2		
	専門演習Ⅰ	2		
	専門演習Ⅱ	4		
	専門演習Ⅲ	4		
	卒業論文	4		
	専門講読Ⅰ(英語)	2		
	専門講読Ⅱ(英語)	2		
	専門講読Ⅲ(英語)	2		
	経済学特講Ⅰ	2		
	経済学特講Ⅱ	2		
	経済学特講Ⅲ	2		
	経済学特講Ⅳ	2		
	経済学特講Ⅴ	2		
	経済学特講Ⅵ	2		
	経済学特講Ⅶ	2		
	キャリアアップ英語Ⅲ	2		
	キャリアアップ英語Ⅳ	2		
	ビジネス英語A	2		
	ビジネス英語B	2		
キャリア・デザインⅠ	2			
キャリア・デザインⅡ	2			
キャリア・デザインⅢ	2			
産官民提携講座Ⅰ	2			
産官民提携講座Ⅱ	2			
産官民提携講座Ⅲ	2			
産官民提携講座Ⅳ	2			
産官民提携講座Ⅴ	2			
産官民提携講座Ⅵ	2			
インターンシップ	2			
キャリア・デザイン	2			
サービスラーニング実習Ⅰ	1			
サービスラーニング実習Ⅱ	1			
サービスラーニング実習Ⅲ	1			
サービスラーニング実習Ⅳ	1			
課題解決型演習Ⅰ	2			
課題解決型演習Ⅱ	2			
課題解決型演習Ⅲ	2			
課題解決型演習Ⅳ	2			
長期インターンシップ	4			
地域連携学A	2			
地域連携学B	2			
地域連携学C	2			
地域連携学D	2			
卒業要件	自由選択科目	(注2)		
	自由選択科目			
教養教育科目 36 単位以上、専門教育科目 76 単位以上、キャリア教育科目 2 単位以上を含め、128 単位以上とする。				
(注1) 外国人留学生・帰国学生については、別に定める。 (注2) 自由選択科目は、卒業要件に含むことはできない。 ※ 「韓国語会話Ⅲ・Ⅳ」は、2024 年度以前の入学者についても適用する。(総合)Ⅰ、Ⅱ ※ 「スペイン語Ⅲ・Ⅳ(後期)」 「スペイン語Ⅲ・Ⅳ」は、2024 年度以前の入学者についても適用する。				

76 単位以上修得

別表 17

文学部（宗教学文化学科・歴史学科・英語英米文化学科・日本文化学科）・商学部・経営学部・経済学部・法学部・心理学部共通
（外国人留学生・帰国学生）

部門	分野	授業科目名		単位数		備考
				必修	選択	
教養 教育 科目	外国語 科目	日本語 I a		1		6単位修得
		日本語 II a		1		
		日本語 I b		1		
		日本語 II b		1		
		日本語 I c		1		
		日本語 II c		1		4単位修得 （ただし、英語は～IIcのうち4単位を振り替えることができる。）
		日本語 I d		1		
		日本語 II d			1	
		日本語 I e			1	
		日本語 II e			1	

外国人留学生・帰国学生については、別表1～5及び8に定める英語は～IIcの6単位及びびイテテ語1～II、中国語I～II、韓国語I～II、スペイン語I～II、外国語科目の文化事情、のいずれか4単位に代えて、日本語Ia～IIaの10単位を履修することができる。経済学部は、開講されていない英語Ic・IIcの2単位分を、教養基幹科目の卒業要件単位として振り分ける。

第3年次への進級に関する内規

- 1 この内規は、文学部・商学部・経済学部・法学部・総合政策学部・健康科学部及び心理学部における学生の学科目履修指導を目的とする。なお、歯学部、薬学部及び経営学部に関する内規については、別に定める。
- 2 前項の目的を達成するため、学年が2年次から3年次へ進級する場合、その修得単位数に一定の条件を課する。
- 3 2年次修了時に、卒業要件単位のうち修得単位数48単位以上修得した者は、3年次進級とする。
- 4 この内規の改廃は代表教授会の決議による。
- 5 この内規に関する事務は教務部教務課が取り扱う。

附則

- この内規は、平成6年4月1日より施行する。(平成6年度入学生から適用する)
- この内規は、平成11年4月1日より施行する。(平成10年度入学生から適用する)
- この内規は、平成15年4月1日より施行する。(平成15年度入学生から適用する)
- この内規は、平成18年4月1日より施行する。
(平成18年度入学生から適用する。ただし、薬学部については平成17年度入学生から適用する)
- この内規は、平成25年4月1日より施行する。(平成25年度入学生から適用する)
- この内規は、令和4年4月1日より施行する。(令和4年度入学生から適用する)
- この内規は、令和5年4月1日より施行する。(令和5年度入学生から適用する)

卒業論文取扱い規程

I 大学で学ぶために

II 履修関連事項

III 授業・試験・成績

IV カリキュラム

V 諸資格の取得

VI カリキュラム

VII 諸規則

第1条 卒業論文は、愛知学院大学学則第7条第1項(5)に従い、所定の期間の指導を受けて提出された成果で評価する。

第2条 卒業論文の提出は、所定の指導期間後に設定された期日刻限までに行われなければならない。ただし、期日刻限に提出を行わなかった者のうち、開講学部が指定する条件を満たした場合は、次の学期の別途期日刻限までに提出することができる。

第3条 この規程の改廃は代表教授会の議を経て、学長が決する。

第4条 この規程に関する事務は教務部教務課が取り扱う。

附則

この規程は、平成27年12月1日から施行する。

単位互換履修(特別聴講)実施要領

(目的)

1. この要領は、愛知学院大学(以下「本学」という。)と他大学との間で締結された「単位互換に関する包括協定」に基づき、本学に在籍する学生が単位互換履修(特別聴講)―以下「本履修」という。―を行うために必要な事項を定める。

(履修可能な単位数)

2. 本履修によって履修できる単位数、及び、本履修によって修得した単位を本学における授業科目の履修により修得したものとみなされる単位数は、いずれも本学学則第8条の2第1項に定める60単位を超えないものとする。

(卒業要件単位認定の可否)

3. 本履修により受講する科目の卒業要件への算入は、在籍学部学科の定めるところによる。

(出願手続)

4. 本履修を希望する学生は、所定の出願票を所定の期日までに本学へ提出し、希望科目開講大学による選考を受けなければならない。

(履修制限単位数)

5. 本履修が認められた科目の単位数は、本学における制限単位に算入する。

(不許可科目の処置)

6. 出願した本履修が認められなかったときは、所定の期日までに本学において履修登録科目の変更を行うことができる。

(事務処理)

7. この要領の事務処理は、教務課が行う。

(施行)

8. この要領は、平成14年4月1日から施行する。
この要領は、平成20年4月1日から施行する。
この要領は、平成29年4月1日から施行する。

愛知学院大学 名城公園キャンパス
〒462-8739 愛知県名古屋市北区名城3-1-1 TEL052-911-1011(代)
編集／名城公園キャンパス事務局 <https://www.agu.ac.jp/>

2025年3月発行

愛知学院大学

本履修要項は、卒業時まで使用しますので大切に使用してください。

●履修要項はMicrosoft Teamsからも確認できます。

掲載内容に変更が生じた場合についても以下のページでお知らせします。

「アクセス方法」Microsoft Teams → 「学部生用キヤベネット一覧」チーム → フォイナル → 「学部生（日進・MKC共通）」